

アナログゲーム 紹介

ほうれん草ゲーム

ソーシャルディスタンスを意識して多人数で遊べる！？ほうれん草ゲーム。ルールは簡単、2束のほうれん草（手をグーの形にする）を受け渡していくリズムゲームです。『ほうれん草』というかけ声で行いますが、何度も唱えていると混乱して言えなくなってしまうのが面白い！ほうれん草の受け渡しができない場合やリズムを乱したプレイヤーが負けになります。道具を使わず楽しめるので、気軽に遊んでみてください。

【3人～多人数】



スポーツスタッキング

全世界で人気！年齢や性別、体力を問わないスポーツスタッキング。複数のプラスチック製のカップを積み上げ、積み上げたカップを元に戻します。その速さを競う、瞬発力がカギとなるゲームです。基本は12個のカップを使用していますが、カップの数を減らすなど、工夫して遊べるのも魅力です。「我こそは！」という方、日本記録や世界記録にもチャレンジしてみてください！【1人】

9・10月の主な募集案内

クリエイターワーク マンガ・イラスト講座 9/20(日) 16:00-17:30

漫画家のすぎやまゆうこさんを講師に迎え、基本的なマンガの描き方を教えていただきながら、イラストを描きます。併せて、すぎやまさんが漫画家を目指した動機や道についてお話しさせていただきます。

【対象】 小学校5年生以上の若者
【定員】 10人
【要申込】 受付でお申し込みください



せたがや大人図鑑 ショービジネスの世界 10/11(日) 16:30-17:40

児童館スタッフ、舞台『レ・ミゼラブル』のキャストを経て、タップダンスユニット『TAP DO!』のメンバーとしてエンターテインメントショーを展開している坂口勝さんをゲストに迎え、パークッションで遊んだり、ショービジネスの話の聞いたりします。

【対象】 小学校5年生以上の若者
【定員】 10人
【要申込】 受付でお申し込みください

スタッフ紹介

※ユースワーカーとは若者の成長をサポートする専門スタッフです。



井上 寿純 イノウエ スズミ

4月からユースワーカーデビューしました井上です。アップスでは「みい〜」と呼ばれています！夏生まれかと思いきや誕生日は毎年梅雨、生粋の「はまっこ」ですがもっぱら世田谷が好きです。まだまだ知らないことだらけだなと思うこの頃、最近ではデザインの本を買って色彩のセンスを勉強しています。好きなものは思いついた順にいちごとコーヒーとまぐろ。アップスでいろんなことに挑戦して、一緒に新しい発見をしていきましょう！！

寺澤 麻衣 テラサワ マイ



若者が話している中にさりげなく入っていき、「びっくりした！てらさん気配消すのうますぎ…」とよく言われます。それが特技の寺澤麻衣です。私は大学・大学院で心理学を専攻し、心理学の奥深さと心のケアの大切さを学びました。そんな真面目(?)な一面もあります。アップスでは最近編み物をするのにハマっていて、先日ミニトートバッグを作りました！みんなで編み物部を立ち上げ、いろんなものを作りましょ〜う！

世田谷区立希望丘青少年交流センター「アップス」

Access 〒156-0055 世田谷区船橋 6-25-1-3F

HP <https://ups-s.com/index.html>

Twitter @ups_setagaya

Tel 03-6304-6915

Fax 03-6304-6916



▲HPはこちら

アップス PRESS

家にも学校にもないものを。

07

September 2020

興味を持ったきっかけ

留学中にマイボトルとスプーン・フォークを常にリュックに入れ、固形のシャンプーや竹の歯ブラシを使う同級生に出会い、彼女のゴミを最小限にするサスティナブル¹⁾な生活に感心し、興味を持ちはじめました。(まり)高校に入学後、授業でSDGs²⁾や社会問題について学んだことをきっかけに興味を持つようになりました。自然や動物が好きなので特に環境問題に注目するようになりました。(かんな)

活動の目的と内容

私たちは3人から6人に、10人から100人に地球のことを想う人を増やせると信じています。高校生の私たちにだからこそできるユニークな発想で、地球の今・未来を考えられる「ちとふな」を作ります！これまでは地域の小学生とオンラインで環境問題に関する勉強会やグローバル気候マーチを行いました。レジ袋の有料化に合わせてブーメランパック³⁾の導入を進めています。

- 1) 持続可能
- 2) 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17のゴール・169のターゲットで構成された開発目標
- 3) お客様に家で使わない紙袋をお店に持ってきてもらうことを呼びかけ、マイバックを忘れた時にその紙袋を使ってもらう仕組みのこと

身近な環境活動に取り組む

アオミドリ



興味を持ったきっかけ

手話に興味を持ったきっかけはメンバーそれぞれ異なります。福祉関係が学べる高校に通っているなかで手話の授業があり、声による会話が難しい時でも、手で話すことによって会話を楽しめる「手話」に興味を持った人や盲導犬に興味があり、調べているなかで、手話についても注目するようになった人がいます。また、コミュニケーションスキルの一つとして習得し、交流の輪を広げたいと思い、興味を持った人などもあります。

活動の目的と内容

手で話す「手話」という言語をさまざまな人に知ってもらいたいという思いで活動しています。手話は世界共通ではなく、日本語や英語のように国によって違う言語を持っています。また、日本で使用している「日本手話」においても日本語と同じように方言が存在します。そのため、この手話サークルで学ぶ手話は一例に過ぎないかもしれませんが、手話の素晴らしさをみなさんに知ってもらいたいです。気軽に楽しく手話を覚えていけたら良いと考えています。

活動日 毎週日曜日
時間 14:00～15:00

手話でコミュニケーション

いと



【どちらのサークルもメンバー募集中です。詳しくはアップス受付までお問合せください。】

このページは両サークルの若者が執筆しています。

登録サークル 活動始動!

若者の「やりたい」を実現する一つの方法として、自主的なサークル活動を応援しています。環境問題に取り組む『アオミドリ』、手話に取り組む『いと』、二つのサークルが活動をスタートさせています。



オンラインだからこそ...

アップスでは臨時休館中に若者と何とかしてつながりたいと、オンライン・プログラムを実施しました。離れていても、顔を見てコミュニケーションが図れることは、オンラインならではの魅力です。そこで施設再開後も新たな試みとしていくつかの取り組みをしています。

🇯🇵 日仏中高生交流会 🇫🇷

昨年度末のアップス座談会で「海外の方とも交流してみたい!」という若者の発言をきっかけとして始まったプロジェクト。交流先を検討しているなかアップススタッフの元・同級生がフランスのユースセンター "Maisons des Jeunes et de la Culture" (若者と文化の家) で働いていることが判明。そこからはほとんど拍子に企画が動き始めました。日本とフランスの時差は、なんと7時間! 距離・時間・言葉の壁を超えた当日の様子をご紹介します!



当日、日本の17時、フランスの朝10時にスタートしました。アップスからは7名の若者が参加。自己紹介をした後は、アイスブレイクとして夏から連想することを絵に描きました。日本の若者はスイカが多かったのに対して、フランスの若者はビーチ・太陽・バカンス。それをきっかけに夏休みの過ごし方などについて情報交換しました。その後は両方の施設について紹介。"Maisons des Jeunes et de la Culture" では、テクノロジーがテーマとなっていて3Dプリンターを使った活動などがあるそうです。その他にもお互いの学校のことなど、さまざまな話題があげられ、言葉や距離を超えて繋がることの面白さや大切さを実感する時間となりました。

参加者の声

参加するにあたり、私は事前に「日本の学校の1日」を紹介するため映像を作りました。制作する上で、フランスの学校のHPを見るなど自分なりに調べてみました。そのなかで動画に字幕をつける時にフランス語の名詞には性別があることを知りました。準備の段階から学ぶことが多かったと感じます。当日は、同い年くらいの子の間で流行っている曲を教えてもらったり、お互いの学校の休校期間や夏休みについて意見を交換し合ったりと、とても盛り上がりま

した。一生懸命作った映像も褒めてもらえて嬉しかったです。異文化に触れる楽しさを実感しました。【Yさん】
3Dプリンターなどの最新の科学技術をセンターで利用できることに驚きました!! それぞれの施設の良さが分かって、とても楽しかったです。是非また参加したいです! 【Sさん】
コロナ禍で満足に外に出られなかったのに、オンラインで海外のユースセンターと交流できてよかったです。また参加したいです。【Hさん】

若者がマイスター (技術のある職人) となり、自分の得意なことや好きなことを、インスタグラムを活用して情報を発信するという企画です。第1回目は、製菓の専門学校に通っている若者がシュークリーム作りをしました。



<https://www.instagram.com/p/CC-tph8JEQ5/>



アップスマイスター ch

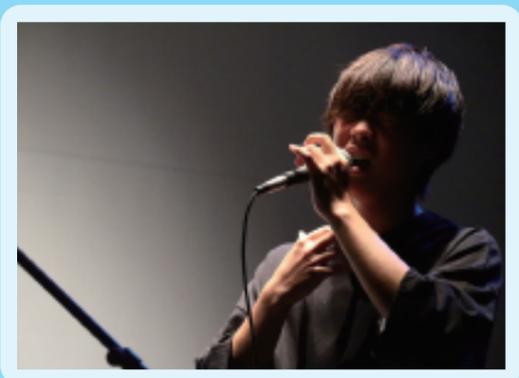
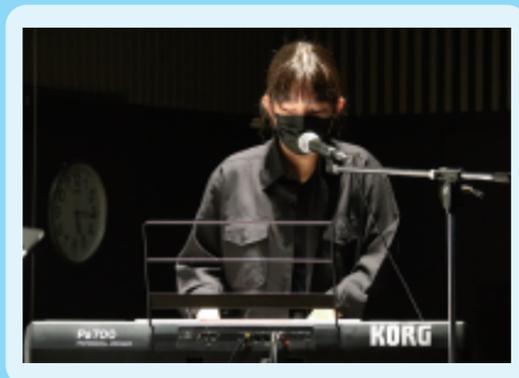
参加者の声

月に1度、開催されているJ-meeting¹⁾で「調理の様子をアップスのインスタグラムで発信してみないか」と提案があり、実施することになりました。自分自身の練習にもなるし、何より楽しそうだと思いました。しかし、実際に撮影が始まると緊張してしまい、撮られ慣れてないことが調理に影響したかなと感じます。(笑) 少し上手に出来なかった部分もあり、悔しさもありますが、撮影をサポートくださったセンター長のおかげで楽しく終わることができました。

1) 「やってみたい」ことやアップスの運営ルールを話し合う場、Join (つながる) や Joy (楽しい) などの意味から、J-meeting と呼んでいます。

アップス LIVE 2020

新型コロナウイルスの影響でフェスや縁日が中止となり、さまざまな表現の場が失われてしまいました。そこで、感染予防対策をしっかりとした上で元気いっぱいのパフォーマンスをして欲しいと考え、アップス LIVE を実施しました。1日1グループ、観客も30人までとさまざまな制限がありました。若者は今できる最高のパフォーマンスを繰り広げました。



参加者の声

アップスフェスのリベンジの意味も込めて参加しました。馴染みの場所・スタッフということで落ち着いて演奏できました。セッティングから好きなようにやらせてくれたこと、感染症対策もしっかりと行われていたことで、安心して演奏できて良かったです。1日1バンドだったことで、1時間すべてを自分たちの時間としてパフォーマンスでき、よりオリジナリティが出せたように感じました。

Yeah's

参加者の声

3月のアップス・フェスに出演できなかったこともあり、今回の出演を決めました。元々、ステージに立つことが好きなので、出演したいと思いました。曲のセトリリストはみなさんに楽しんでもらえるようにたくさん悩んで決めました。緊張で歌詞を忘れてしまった場面もありましたが、来てくれた方たちもペンライトを使って盛り上がってくれていたのがよかったです。

KAZUKUN present first Live ~LOVE~

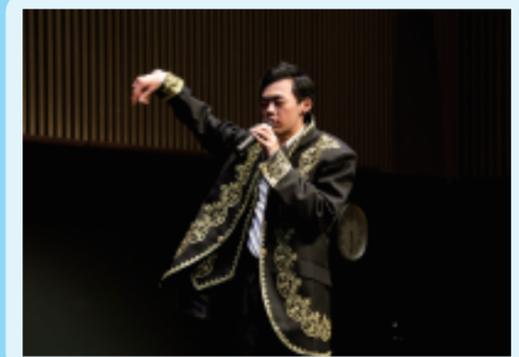
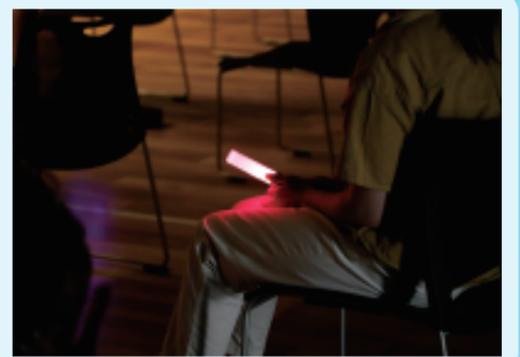


Photo by R.Ariizumi (日本大学芸術学部写真学科1年)

参加者の声

アップス LIVE の初日のパフォーマンスを観て面白そうだと思い、フェスのリベンジも兼ねて出演を決めました。準備期間が短かったため緊張やミスもありましたが、全力を出し切った、あっという間の時間でした。また、友人が演出を手伝ってくれて、とても感謝しています。トークに慣れておらず、恥ずかしさと申し訳なさでいっぱいなので、今後は柔軟に頭を使えるように数独をやろうと思います。

ノネット



大学で写真学科を専攻している若者が、ライブで写真撮影をしてくれました。「コロナの影響で学校の行事や地域のイベントが減り、写真を撮る機会が少なくなった」「照明の落ちた薄暗い環境の中で写真をとる練習をしたい」ということで、撮影技術の向上を目的とした練習を兼ねて名乗り出てくれました。

